

LCV「諏訪圏情報BOX」(第5回)について

○ 放送日 平成30年6月19日(火)、26日(火)

○ テーマ

「霧ヶ峰の豊かな自然を後世に残すために草原の保全再生作業に参加してみませんか。」

○ 出演者

諏訪地域振興局環境課 主査 小平 健一

○ 概要

Q1 霧ヶ峰の現状について教えてください。

- ・ かつては採草地として人の手が入っていましたが、昭和30年代以降に人の手が入らなくなってからは、ササやススキが多く見られるようになり、また、近年ではオオハンゴンソウのような外来植物が侵入し、霧ヶ峰の景観や生態系への影響が懸念される状況です。

Q2 そう言った中で、どのような作業を実施しているのですか。

- ・ 霧ヶ峰に関係する41団体から構成されている霧ヶ峰自然環境保全協議会(通称:みらい協議会)が主催して、平成26年度から外来植物の駆除作業やササやススキなどの刈取作業を行っています。
- ・ 毎年、多くの方のボランティアの方に参加いただいております、昨年度は延べ9回の作業で400人以上の方に参加いただきました。

Q3 今年度の作業の予定はどうなっていますか。

- ・ 今年度も5月から9月まで、合計9回の作業を予定しています。
- ・ これまでに2回の作業が終了していますが、引き続き、作業に参加していただける方をみらい協議会で募集しています。

Q4 作業は誰でもできますか。

- ・ 作業はそれぞれペースでやっていただければ結構ですし、道具も当日お貸ししますので、あまり難しく考えずに、お気軽にご参加いただければと思います。
- ・ また、1回でも2回でも、ご都合のつく範囲のご参加で結構です。
- ・ 次回は6月28日(木)に車山高原で作業を行います。車山高原スキー場ビジターセンターへ9時までに集合いただいて、作業の説明などさせていただいてからヒメジョオン・フランスギクの駆除作業を行い、午前中には作業を終える予定です。

- ・ 参加申込や作業内容等詳しいことは、長野県諏訪地域振興局環境課のホームページをご覧ください。電話0266-57-2952にお問い合わせください。

Q5 平成26年度から作業を実施しているということですが、これまでの効果はどうか。

- ・ 作業を行っている多くの場所で、外来植物の減少が見られています。
- ・ また、ササの刈取りを行っている車山肩では、ニッコウキスゲなど多様な高山植物が見られるようになりました。
- ・ 7月にはニッコウキスゲが見頃となりますので、ぜひ皆さんも霧ヶ峰を訪れてみてください。

Q6 最後に。

- ・ 今年の作業は、あと7回あります。
- ・ 1回でも構いませんので、是非、作業へご参加ください。
- ・ 霧ヶ峰の豊かな自然を後世に残すため、たくさんの方の御参加をお待ちしています。